



別海中央中学校 3 学年
学年通信 第 8 号
平成 27 年 5 月 29 日
文責：神尾 雅敬

青春真只中、いざ、出陣!!

この学年通信のタイトルを決めたのは「いつも戦闘モード」の魚岸先生。ちょっとおどろおどろしいタイトルに「おとなしい」私はどうあわせた内容を書こうかと、いつも悩むのですが……。

タイトルを見たときに頭に浮かんだのが、「人は城、人は石垣、人は堀」という「甲陽軍艦」に記されている武田信玄のことば（として伝えられている）。戦国時代の雄、武田信玄は自らの国を治めるために、勝負における人の働きの大切さをこのように説いていました。

どれだけ城を強固にしても、人の心が離れてしまえば世の中を治めることはできない。逆に熱い情をもって接すれば、強固な城以上に国を良くしてくれる。というもの。

明日は今までの体育祭へのとりくみがどのようなものだったのか。学級として、団としての「団結力」が試される 1 日となるのではないのでしょうか。

ケガをおしながら練習したことも、頭をフル回転して悩んだ作戦も、うまくいかずにイライラしたことも、笑顔を忘れず下級生に接したことも。すべては、誰かのためであったり、学級のためであったり、団のためであったり……。

そういう素敵な姿をいろいろな場面で見ることができました。本当にいろいろなことがありましたが、すべては明日です。最後の体育祭、思いっきり弾けて下さい。やりきって下さい。

ちなみにこの言葉のあとに、「情けは味方、仇は敵なり」という言葉が続きます。君たちが取り組んだこの 2 週間。きっと下級生にとっても頼れる先輩であったと思います。

記憶に残る体育祭となりそうです。保護者の皆様にも是非足を運んでいただき、生徒に大きな声援をかけていただきたいと思います。

明日、9 時開幕、2015 年度の初戦。両団に幸あれ!!

【名簿類は、削除させていただきます。生徒に配布している学年通信をご覧ください。】